

熟年よ大志を抱け！

あけましておめでとうございます。

十年ほど前から、私は年賀状にそのとき自分が感じていることをエッセイとして書き綴ってきました。

新年早々に長い文言かもしれないませんが、心にも時間にもゆとりのある正月には、こちらのメッセージを伝え、また楽しんでいただければ、との思いからなのです。

昨年、改編した私のホームページには、これまで出してきた年賀状も載せました。

「東京のドン・キホーテ」の“見果てぬ夢”は、昨年その一つが実現。ラ・マンチャを訪ね、その紀行が信濃毎日新聞に連載されました。(毎週木曜日の夕刊で計五回、一月十二日が最終回です)

東京国際マラソンで優勝した高橋尚子。暗闇のなかでもがき苦しんできただけに、インタビューでほとぼり出た言葉には感動しました。

「二十四時間は皆に平等に与えられている。どうか一日一日を大切に。二十代、三十代そして中高年の方も夢を持ち続けてください。夢を持ってば必ず光が見えてきます」と。

「夢」「希望」という言葉には強い力が宿るように思います。Seniors be ambitious(熟年よ大志を抱け！)です。今年も人生の上り坂を走り続けていきたいと思っています。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2006年 元旦

HP: <http://homepage2.nifty.com/donky/>

E-mail: donky17@nifty.com

